

ひろしまの緑

発行 公益社団法人広島県みどり推進機構

2023
Vol.97
Jul.



タイトル：「池に写る女鹿平山」
撮影者：吉野 栄作さん（廿日市市）

目次

就任のごあいさつ.....	2
第27回「みどりの集い」.....	3
イベント掲示板.....	4
第21回 ひろしま「山の日」県民の集い.....	5
志和小学校みどりの少年団.....	6
子どもたちとの体験交流活動.....	7
令和5年度みどりづくり活動支援事業助成決定.....	8
緑の街頭募金.....	8



賛助会員募集

個人 1口 2,000円

団体 1口 10,000円

何口でも可、詳しくは、当機構 HP 又は
広島県みどり推進機構にお問合せください

みどり推進機構ホームページ
URL <https://www.green-hiroshima.or.jp>



就任のごあいさつ

広島県農林水産局林業課長 川崎 耕作



この度、4月1日付で、広島県農林水産局林業課長を拝命致しました川崎耕作と申します。前職は、林野庁森林整備部整備課で、造林・間伐を担当する課長補佐をしており、それ以前は、治山事業や保安林制度を担当するなど主に川上側での業務に多く携わってまいりました。また、勤務地としては東京の他、秋田、新潟、群馬、福岡と各地に赴き、地すべり防止工事の現場監督や、国営公園の調査設計など、森林土木を中心に森林管理・保全等の業務を担当してまいりました。

きた経験を踏まえ、広島県の発展に全力を尽くして参る所存ですので、よろしくお願いたします。

さて、2020年より世界経済から身近な生活環境に至るまで大きな影響を及ぼしてきた新型コロナウイルス感染症も、この5月には感染症法令上の5類に移行され、新たなステージに入りました。街中を歩く外国人観光客も多く見かけるようになり、また、職場・プライベートでの懇親・親睦の機会が多くなってきていることを肌身で感じ

ます。しかし、この状況はピンチばかりではありません。海外情勢の影響を受けにくい木材需給構造への移行を目指す。県産材の需要拡大を図る絶好のチャンスと捉えることもできます。と同時に、戦後造成した森林が利用期を迎え、循環利用に向けた次のサイクルに入りつつある今、改めて地域の森林にしっかりと目を向け、将来を見据えた森林・林業・木材産業を考える大変重要な時期ともなります。

一方、森林・林業を取り巻く情勢に目を向けてみますと、ウッドショック、ロシア・ウクライナ情勢、為替相場など様々な要素が絡み合い、需給が不透明な状況は依然として継続してい

た方も多いのではないのでしょうか。

こうした中、木材の利用と森林の整備・保全を一体的に推進していくため、広島県では「2025広島県農林水産アクションプログラム」を策定し、原木の安定的な供給に向けた間伐や路網整備等の更なる推進、加工施設整備等による県産材製品の競争力・供給力強

化等に取り組んでいるところです。公益社団法人広島県みどり推進機構におかれては、「緑の募金活動」をはじめ、緑化推進や森林ボランティア活動への支援など幅広く活動を展開されており、県といたしまして、みどり推進機構をはじめ各団体と連携を図りながら、引き続き県内の緑化の推進とともに、持続的な森林の整備・保全が図られるよう努力してまいります。

今後とも皆様方のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

備・保全を一体的に推進していくため、広島県では「2025広島県農林水産アクションプログラム」を策定し、原木の安定的な供給に向けた間伐や路網整備等の更なる推進、加工施設整備等による県産材製品の競争力・供給力強

化等に取り組んでいるところです。公益社団法人広島県みどり推進機構におかれては、「緑の募金活動」をはじめ、緑化推進や森林ボランティア活動への支援など幅広く活動を展開されており、県といたしまして、みどり推進機構をはじめ各団体と連携を図りながら、引き続き県内の緑化の推進とともに、持続的な森林の整備・保全が図られるよう努力してまいります。

今後とも皆様方のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

広島県林業課においては、森林整備等の川上の分野から、木材の加工・流通・消費など、川中・川下の分野も含め、森林・林業・木材産業全般へ幅広く携

わることとなります。これまで培って

備・保全を一体的に推進していくため、広島県では「2025広島県農林水産アクションプログラム」を策定し、原木の安定的な供給に向けた間伐や路網整備等の更なる推進、加工施設整備等による県産材製品の競争力・供給力強

化等に取り組んでいるところです。公益社団法人広島県みどり推進機構におかれては、「緑の募金活動」をはじめ、緑化推進や森林ボランティア活動への支援など幅広く活動を展開されており、県といたしまして、みどり推進機構をはじめ各団体と連携を図りながら、引き続き県内の緑化の推進とともに、持続的な森林の整備・保全が図られるよう努力してまいります。



令和5年度 第27回 「みどりの集い」開催結果報告

開催年月日：令和5年4月30日（日）
開催場所：ひろしま遊学の森 広島県緑化センター
主催：「県民緑化の集い」実行委員会

1. 今年も順延して4月30日に開催

4月29日「みどりの日」に開催予定でしたが、雨天予報のため、急遽1日順延しての開催となりました。当日は予報通りの晴天に恵まれ、多目的広場・芝生広場をメイン会場としてたくさんイベントブースや展示場所を設けて開催した結果、来場者数は推計約2,000人となり、新緑の中で大いに賑わいました。

2. 開会式では

10時からの開会式では、「県民緑化の集い」実行委員会の高木会長（広島県森林協会常務理事）の挨拶で始まり、大濱広島県農林水産局長の祝辞に続き、主催者紹介の後、「可部南グリーンズ緑の少年団」35人が力強い「みどりの誓い」を



みどりの誓いの発表

発表しました。また、緑の募金に寄付のあったマックスバリュ西日本㈱に大濱広島県みどり推進機構副理事長（広島県農林水産局長）から感謝状が贈呈され開会式が終了し、各ブースでの催しが始まりしました。



感謝状の贈呈

3. 体験コーナーでは

毎回人気の「寄せ植え教室（広島県造園建設業協会）・「たね団子を作ろう」（みずえ緑地㈱）、「粘土で作ろう（モーモーアート）」、「ネイチャーゲーム（広島市シエアリングネイチャーの会）」、「自由工作塾（ふれあい湧）」などの制作ブースがあり家族連れで賑わいました



寄せ植え教室

た。「森の安全作業を学ぼう（NPO法人ひろしま人と樹の会）」では、丸太切りを体験して安全なノコギリの使い方も体験できました。レストハウス前駐車場での「空から森を眺めよう」では、地上12メートルの高所作業車のデッキからセンター池や新緑の園内を眺めることができ、参加した子供たちは貴重な体験に喜んでいました。



空から森を眺めよう

4. 展示コーナーでは

本部テントの「緑の募金」コーナーでは、緑化センターで採取した種子から育てたコナラ、クヌギ、モミジの苗木30本が用意され募金者にプレゼントされ、多くの皆さんからの募金が集まりました。
パネル展示ブースでは、「マックスバリュ西日本㈱」の環境貢献活動、「ひろしまの森づくり事業」



マックスバリュ西日本・エフピコ展示ブース

の取組み、「森林の働き」のパネル、広島市里山整備士会の「里山について」のパネルが展示されました。
学習展示館では草和会の「山野草展示販売・お茶席」が催され、季節の草花や寄せ植えなどを眺めながらお茶席を楽しんでいました。

5. 販売コーナーでは

プチパン、トールのパン、COCO巻番屋カレーキッチンカー、檸檬の樹のクロワッサンたい焼き、草花の販売コーナー、また今回初参加の尾三物産振興協会の果物ジュースの販売がありました。
ひろしまの森づくりキャラクター「モーリー」との撮影会では多くの親子連れと一緒に並んでシャッターを切っていました。



初参加のジュース販売



キッチンカーも来たよ



モーリー大人気



ステージ「県庁合唱団」



ステージ「オカリナレインボー」

7. 閉会式（※年は4月28日にお会いしましょう）
「ひろしま遊学の森管理グループ」を代表して榎第一ビルサービスの岡野課長からお礼の挨拶があり、予定の15時に閉会しました。
閉会式後、恒例により会場内を華やかに飾っていた花苗が無料配布され、色とりどりの花を手にした皆さんは喜んで会場を後にされました。

6. ステージでは
今年は4年ぶりにステージでの演奏等が行われました。以前から出演頂いている「県庁合唱団」の歌声も久しぶりに聞くことができました。また、今回初出演の「オカリナレインボー」の皆さんも、大好きなオカリナを大勢のお客さんの前で演奏でき、よい経験になったそうです。



8. 開催準備の裏側について
本部などの受付場所には、引き続き除菌スプレーを配置して新型コロナウイルス感染症防止に努めました。
新たに「デジタル広告」として広島市周辺と岩国市区域を対象に「Yahoo! 広告」、「Instagram 広告」に開催情報を掲載しました。合わせて約42万人がスマホやパソコンで見てくださいました。また、雨天順延のお知らせは7万8千人に見ていただきました。
SNSすぎ過ぎ。

イベント掲示板（7月～9月）

行事名	実施日	料金	申込(期限)	内容
広島県緑化センター TEL 082-899-2811 広島市東区福田町 https://ryokka-c.jp/				
夏のきのこ教室	7月2日(日)	参加無料	自由参加	園内できのこの採取し、午後から持ち帰ったきのこを鑑定 ※採集用のカゴ持参 荒天中止
7月の自然探勝	7月4日(火)	参加無料	自由参加	散策路を歩きながら、植物を観察 ※ルーペ持参 サンダル不可
シダの世界	7月4日(火)	参加無料	自由参加	散策路を歩きながら、シダ植物を観察 ※ルーペ持参 荒天中止
夏休み自由工作塾	7月16日(日)・23日(日)・30日(日)・8月20日(日)・27日(日)	材料費 1作品につき 100円	自由参加 (随時受付)	木の実や木の枝などの自然素材を利用して、自由に作品を制作 ※荒天中止
夏休み昆虫教室	7月16日(日)	無料	要予約 先着30名	昆虫の生態や採集方法などを学び、屋外で採集 ※採集用具持参
藍のトントン染め	7月17日(月祝)	材料費500円	要予約 先着10組	藍染めについて学び、トントン染めを実践
昆虫標本作り入門	7月23日(日)	材料費1000円	要予約 先着10組	昆虫について学び、標本を作製
水生昆虫を探そう	8月6日(日)	参加無料	要予約 先着20名	渓流路で水生昆虫を観察 ※小学生以下 雨天中止
薬草健康講座	9月1日(金)	参加無料	自由参加	健康や薬草、秋の七草についての講義
野菊を育てよう	9月9日(土)	材料費1500円	要予約 先着20組	キクについて学び、実践して持ち帰り
秋の七草と自然探勝	9月10日(日)	参加無料	自由参加	秋の七草について学び、植物を観察
9月の自然探勝	9月16日(土)	参加無料	自由参加	散策路を歩きながら、植物を観察
秋のきのこ入門観察会	9月24日(日)	参加無料	要予約 先着15名	渓流路を歩きながら、発生しているきのこの解説を受講 ※半ズボン、サンダル不可

※新型コロナウイルス感染防止のため、イベント、研修会等を中止や延期する場合がありますので、ホームページやSNS等で最新の情報をご確認ください。



第21回 ひろしま「山の日」県民の集い

安芸郡4町など、広島県内16の会場で開催!

6月の第一日曜日は、「山に親しむ、山を楽しむ、山を学ぶ」をテーマに、令和5年6月4日(日)、第21回ひろしま「山の日」県民の集いが安芸郡4町を代表して坂町をメイン会場に広島県内15市町16会場で里山の手入れ、森のネイチャーゲーム、自然観察会などの様々なプログラムが行われました。各会場の特徴を活かした地域ネットワーク型の事業がひろしま「山の日」県民の集いの大きな特徴となっています。今年度で、これまで目標にしてきました広島県内23市町全てにおいて、ひろしま「山の日」県民の集いが開催されました。

また、SDGsに掲げられている17の目標の中で14「海の豊かさを守ろう」、15「陸の豊かさを守ろう」の2つの目標については、私たちの活動そのものです。里山には、SDGsの身近な教材や資源が豊富であり、活動を通じて参加者一人一人にとってSDGsがより身近なものになる役割も果たせたのではないかと思っております。

当日は、晴天に恵まれさわやかな海風の中、子どもたちから大人まで森林ボランティア、山や自然の愛好家など多くの県民が参加され、里山の手入れなどの各プログラムを通じて身近な

里山とふれあう良い機会となりました。主に安芸郡4町(坂町)会場の様子を紹介します。

開会式の様子



開会式 前垣壽男会長 挨拶



開会式 吉田隆行坂町長 歓迎の挨拶



開会式 榎山俊宏県議会議員 祝辞



「横浜小学校」ひろしま「山の日」宣言



木工体験の様子



ステージショー(和太鼓)の様子

メイン会場の内容

参議院議員の宮沢洋一様をはじめ多くの来賓の方々にご臨席賜り、山と海はつながっており、里山の環境保全活動の大切さと瀬戸内海で開催される意義の話があり、約400人の参加のもと開会式が行われました。横浜小学校の児童2人が「山から流れる水は、生き物や田畑を潤す。山の大切さを考える日とす

る」と力強く山の日宣言をし、身近な里山の保全の大切さを再確認できた開会式となりました。

ベイサイドビーチ坂町一帯は、家族連れたちでにぎわい、体験ブースや飲食・物販ブースなど多くの来場者の方々が楽しまれました。ステージショーでは、和太鼓やマンドリンの演奏、フラダンス、コーラス、ピップホッパダンスなど盛りだくさんのパフォーマンスで来場者を癒してくれました。

今後に向けて

安芸郡4町会場実行委員会の構成メンバーが一致団結し、メイン会場及びサブ会場の安芸郡全体で盛り上げておられ、とても良い集いとなったと思います。閉会式では、来年度開催地予定の東広島市を代表されて東広島市産業部長 鈴木嘉一郎様より、これまでの取り組みに対して温かいお言葉をいただき、新たなスタートにつなげていきますと「山の日」フラッグの引継ぎも無事終了いたしました。

参加者一覧

会場名		参加者	山の手入れ等
安芸郡4町	坂町メイン会場 ベイサイドビーチ坂	1,600人	27人
	府中町サブ会場 水分峡森林公園	500人	20人
	海田町サブ会場 海田総合公園	274人	一人
	熊野町サブ会場 ゆるぎ観音周辺	52人	46人
東広島市会場 東広島市憩いの森公園	291人	119人	
廿日市市会場 もみのき森林公園	800人	51人	
広島市会場	ひろしま遊学の森	650人	65人
	広島市森林公園	1,277人	18人
三原市会場 高坂自然休養村	95人	29人	
福山市会場 ふくやまふれ愛ランド	20人	20人	
三次市会場 酒屋地区憩いの森	114人	46人	
呉市会場 野呂山	217人	70人	
北広島町会場 八幡高原	256人	27人	
大竹市会場 マロンの里交流館	1,200人	一人	
世羅町会場 せら夢公園	135人	8人	
神石高原町会場 帝釈峡神龍湖	30人	30人	
計		7,511人	576人

・山の手入れ等は、山の手入れ、植樹、登山道整備、清掃など

緑の少年団活動状況

志和小学校みどりの少年団 《東広島市》

志和小学校みどりの少年団は、町内

3つの地域にあった小学校が統合され、令和4年度に志和小学校としてスタートしたばかりの、今年度で2年目を迎える新設校です。志和小学校の全児童209人が加入しています。

私たちの住む志和町は、周囲を山々に囲まれ、生城山（おうぎやま）を中心とした盆地状の平野部に水田が広がっている自然豊かなところです。また、山陽自動車道のインターチェンジがあり、交通の基点となっており、工場や物流関係の会社も多くあります。このような地域の自然や産業を生かした学習活動を展開し、地域活性化を図る取組を始めています。



ドローン撮影による生城山周辺の様子



地域の方から生城山の由来や様子を聞きました



登山の様子

志和 里山再生プロジェクト

今年度は、小学4年生40名が中心となって、校歌に歌われており、志和町のシンボルである「生城山」を整備していく活動をします。西日本豪雨災害で崩れ、荒廃しつつある森林を守り、登山道を整備するために、案内表示（登山道、説明看板）などを作成していく活動を進めていきます。まず、5月2日（火）には、地域の方と実際に生城山に登り、登山道の状態や生城山から見える自然豊かな志和の様子などを知り、何が課題でどんなことができるかを考えることができました。この再生プロジェクトを通して、森林の役割について環境の視点で学びを深めていきます。

花いっぱい運動（縦割り班活動）

縦割り班を作って、全校で「花いっぱい運動」に取り組んでいます。縦割り班ごとに、育てる花を選んでプランターに苗を植え、水やりなどのお世話当番を決めて栽培活動をしています。また、その育てたプランターを飾り、きれいで気持ちのよい環境づくりに努めています。特に、プランターを準備したり苗の植え方や世話の仕方を教えたりなど6年生が中心となって取り組んでいます。



環境づくり（水やり）



縦割り班での花の苗植え

栽培を楽しもう！〜地域の方とともに〜

地域の方から田んぼや畑を借りて、地域のグリーンセンターの方や米作りサポーターの方から色々なことを教えてもらいながら、栽培活動を行っています。低学年は「サツマイモ栽培」を通して、自分で農作物を作る楽しさを味わっています。そして、5年生は「米

作り」を通して、農業の苦労や工夫など、さらにはスマート農業についても学習しています。そして、学習発表会でたくさんの方に広めていきました。さらに、昨年度は、ポン菓子を作って日ごろ世話になっている方にも送りました。今年度は、昨年度の栽培活動の課題となった「害獣対策」に取り組む予定です。



田植え



さつまいもの苗植え



稲刈り



さつまいもほり



学習発表会での取組発表の様子

子供たちとの体験交流活動

吉川長寿会 事務局 水城 茂

団体結成と活動のはじまり

昭和36年に地域の高齢者有志でボランティア活動を通じて会員相互の親睦を図ることを目的として吉川長寿会が結成されました。

活動としては、旅行や地域行事に団体として参加することが主な活動でした。

昭和45年から豊穣池そばの森（吉川財産区所有）を安芸地区の青年僧侶さん（80名位）が、キャンプや水泳、念仏を唱える訓練場所として利用され初めてのことから、その場所を「念仏の森」と命名し、観賞用に近辺の道路沿いに桜、サザンカ、森の中にはツツジ、モミジ、フジ、サルスベリ等を植樹してきました。

森まわりの整備は、キャンプ場として利用する青年僧侶さんたちが、木を切ったり草刈り等を行い、長寿会の人たちも手伝ってきました。

昭和63年ごろ交通手段であるバス路線の回数が激減したため、この場所での訓練は中止となりました。

活動の内容

平成元年に、この場所が広島県の「平成元年度マツタケ環境整備」の場所として推薦指定されたことから、その

場所5haを地域の「吉川むらづくり推進委員会」が借り受け、「高齢者生きがい対策事業」として「吉川長寿会」が管理運営することになりました。

その場所を、森の公園（念仏の森後に長寿の森に改名）とマツタケ山とのエリアに分け、作業道や管理棟、水道設備、トイレも整備されたことから、吉川長寿会だけの利用にとどめず、地域の小学校児童たちの森林環境教育と交流の場としても開放しています。

また、交流は、森林のみならず、農業体験の交流も長く続けています。

活動の成果

1. 「長寿の森」には、道路沿いに桜の木やツツジが多く植えられ、また隣接地には豊穣池があることから、花見時期には、地域以外からも花見散策客が訪れています。

2. 「長寿の森」経由の頂上には、標高488mの「槌山城跡」があり、小学5、6年生の登山体験の山となっています。

3. 最近では住民人口を増やす目的で、地域支援の学生協同支援隊が、「長寿の森」を「忍者村」と称して県

内各地から、延べ250人の親子連れを募って、宝物探し、吹き矢、手裏剣等の忍者遊びを企画して8回実施しました。

今後の活動

地域の宝は、地域で守っていけるよう、子供たちに自然体験交流を通して興味と関心を持ってもらうよう働きかけたいです。

自然体験学習も一歩深めて、樹木観察研究、剪定、肥料やりなども行っていきます。

年間の活動スケジュール

活動場所	活動内容、(時期)	活動対象者
長寿の森	草刈、防除、剪定、施肥(適期)	会員
	お迎え遠足(小学校1年生を迎える会 5月)	全校児童、先生
	薪割り、植樹体験(10月)	小学4年生、先生
マツタケ山	山と親しむ会(マツタケ山散策、登山等11月)	全校児童、先生
	草刈り、下刈り、伐採、マツガード注入(11月)	会員
会長宅	モチ米の種まき体験(5月)	小学5年生、先生
炭窯	炭焼き体験(11月)	小学4年生、先生
学校田	田植え体験(6月)	全校児童、先生
	稲刈り体験(10月)	全校児童、先生



植樹



マキ割り



炭窯



種蒔き



田植え



稲刈り

令和5年度 公募事業「みどりづくり活動支援事業」一覧表

(単位：千円)

区分	番号	実施主体	事業名	実施場所	助成額
森林整備	1	吉川長寿会	生きがい対策森林づくり事業	東広島市八本松町 吉川財産区内(借上げ地)	100
	2	吉川の里山を育てる会	吉川みんなの森整備推進事業	東広島市八本松町吉川 吉川財産区有林	120
	3	NPO法人ひろしま人と樹の会	これからの森林ボランティア	広島市中区、三原市本郷町善入寺	200
	4	深水自然を守る会	深水憩いの広場づくりと自然の再生	福山市神辺町 西中条財産区有林、深水共有林	180
	5	上御領下組自然と森林を守る会	上御領下組森林整備事業	福山市神辺町 上御領下組生産森林組合所有林	70
	6	緑化センター里山保全ボランティア	緑化センター森林整備事業	広島市東区福田町 広島県緑化センター内の森林	180
	7	年輪クラブ	羽高湖周辺山林整備事業	府中市諸毛町 羽高湖周辺	90
	8	下御領自然と歴史を守る同好会	里山整備事業	福山市神辺町 下御領生産森林組合所有地	60
	9	福山山岳会	福山市近郊の里山登山道・遊歩道整備事業	福山市近郊の里山	50
	10	木の駅八千代実行委員会	里山間伐整備事業	安芸高田市八千代町	160
	11	NPOグリーンラインを愛する会	県道251号線 沿線景観保全整備事業	福山市 県道251号線沿線	100
	12	NPO法人伊賀和志江の川鐵道	伊賀和志の森づくりプロジェクト	三次市作木町伊賀和志	90
小計					1,400
環境緑化	13	高屋堀団地花壇作り同好会	高屋堀団地周辺環境緑化事業	東広島市高屋町 高屋堀団地周辺	50
	14	土師ダム桜守プロジェクト	土師ダム桜守プロジェクト事業	安芸高田市八千代町土師 土師ダム湖畔	70
	15	甲奴中学校生徒会	学校緑化事業	三次市甲奴町	200
	16	花ネットワーク・BINGO	環境緑化事業	福山市御幸町中津原 芦田川河川敷「草花公園」	150
	17	大河内さくらの会	桜並木整備事業	東広島市西条町郷曾 黒瀬川河川敷	60
	18	毘沙門台学区社会福祉協議会	毘沙門台団地内花いっぱい運動	安佐南区 毘沙門台団地内	150
	19	脱温暖化プロジェクトせら	グリーンカーテン推進	世羅町内自治センター・小学校等	100
	20	吉舎中学校生徒会ボランティア	吉舎学区緑化事業	三次市吉舎町吉舎	200
	21	切串緑の少年団	学校緑化活動	江田島市江田島町切串	130
	22	花咲ジバア会の会	自生桜の保護育成事業	庄原市東城町三坂	80
23	塩町中学校生徒会	学校緑化事業	三次市大田幸町	100	
24	大道田まちづくり支援の会	大道田第2公園のり面整備	呉市焼山東 大道田第2公園	200	
25	高地区フラワーガーデンの会	高地区花壇づくり	庄原市高自治振興センター	120	
26	廿日市造園緑化建設業協会	はつかいちみどりまつり事業	廿日市市 新宮中央公園	120	
小計					1,730
普及啓発	27	サポート・トレーニング・グループ	里山登山路等整備	灰ヶ峰、野呂山、休山の登山道	50
	28	公益財団法人オイスカ広島県支部	山・林・SUN活動事業	廿日市市吉和 もみのき森林公園	40
	29	森のフェスティバル実行委員会	森のフェスティバル事業	廿日市市吉和もみのき森林公園	200
	30	可部南グリーンズ緑の少年団	緑の少年団自然体験い出づくり	三次市君田町及び三原市本郷町	150
小計					440
計					3,570

ボランティア団体や地域の緑化活動等に助成する本年度の「みどりづくり活動支援事業」は、2月1日から3月31日まで公募を行ったところ、30件の応募がありました。

去る5月24日に、緑の募金の管理・運営等について審議する当機構の運営協議会を開催し、一覧表のとおり全事業を採択することになりました。

「緑の募金」にご協力していただいた方々のご厚志に沿うような、素晴らしい「県民参加のみどりづくり」をそれぞれの地域で実施して頂くようお願いいたします。

また、活動に当たっては、昨年に引き続き、密を避ける等、新型コロナウイルス感染症防止に万全を期して頂くようお願いいたします。



令和5年度公募事業

「みどりづくり活動支援事業」助成額決定!

30団体の事業を採択

4月16日(日)、広島市中区のヤマダデンキLABー広島店前で、広島県、広島市及び当機構は、可部南グリーンズ緑の少年団、フラワーケイーン、森林ボランティア団体の方々のご協力を得て、「緑の街頭募金」を実施しました。

感染防止を図りつつ、3年振りに声を出して、募金をお願いをしました。募金にご協力頂いた皆様には心から感謝申し上げます。

緑の街頭募金を実施しました



公益社団法人 広島県みどり推進機構

〒730-8511 広島市中区基町 10-52 県庁森林保全課内 TEL082-513-4840
E-mail info@green-hiroshima.or.jp
ホームページ https://www.green-hiroshima.or.jp

●●● 支 部 事 務 局 ●●●

広島市	広島市役所農林整備課	082-504-2249	安芸高田市	安芸高田市役所農林水産課	0826-47-4022
呉市	呉市役所農林水産課	0823-25-3317	江田島市	江田島市役所農林水産課	0823-43-1642
竹原市	竹原市役所建設課	0846-22-7746	府中町	府中町役場環境課	082-286-3244
三原市	三原市役所農林水産課	0848-67-6081	海田町	海田町役場都市整備課	082-823-9634
尾道市	尾道市役所農林水産課	0848-38-9212	熊野町	熊野町役場農林緑地課	082-820-5638
福山市	福山市役所農林水産課	084-928-1031	坂町	坂町役場産業建設課	082-820-1512
府中市	府中市役所農林課	0847-43-7132	安芸太田町	安芸太田町役場産業観光課	0826-28-1973
三次市	三次市役所農政課	0824-62-6163	北広島町	北広島町役場農林課	050-5812-1857
庄原市	庄原市役所農林水産課	0824-73-1124	大崎上島町	大崎上島町役場建設課	0846-65-3124
大竹市	大竹市役所産業振興課	0827-59-2130	世羅町	世羅町役場産業振興課	0847-22-5304
東広島市	東広島市役所農林水産課	082-420-0939	神石高原町	神石高原町役場産業課	0847-89-3337
廿日市市	廿日市市役所農林水産課	0829-30-9148			

ひろしまの緑 97号 (令和5年7月1日発行) 発行 公益社団法人広島県みどり推進機構

